

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;"><b>北千葉導水路市民見学会</b></p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 <b>流山市立博物館友の会</b>          問合せ先 間藤 邦彦          TEL: 04-7131-3590 Email: matou@tbi.t-com.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<p>貴重な生活用水が安全・清潔に家庭に送水されるまでを市内と他含む 3 機場と施設の見学を通して、市民が学べる機会とするために企画しました。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014 年 9 月 30 日 (火) 9:00~16:30 北千葉導水路ルート</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>(集合) 東武野田線初石駅前→柏そごう          ①北千葉第一機場          ②手賀あけぼの橋          ③手賀川浄化施設          ④手賀沼聖観音菩薩          道の駅しょうなん (昼食・休憩)          ⑤柏ふるさと公園          ⑥北千葉導水ビジターセンター          ⑦北千葉第二機場          ⑧北千葉導水路坂川放流口 (野々下水辺公園)          ⑨松戸排水機場          (解散) 初石駅          *講師: 森田良美氏 (北千葉導水路管理支所長)、相原正義氏 (聖徳大学講師)          *配付資料: 『利根川から手賀沼・江戸川への送水』 相原正義氏著作</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>流山市民 20 名、スタッフ 7 名、合計 27 名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>①北千葉第一機場</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>④手賀沼聖観音菩薩</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>⑤森田所長による北千葉導水路の解説</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>⑥北千葉導水ビジターセンター</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>⑦北千葉第二機場</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>⑨相原講師による松戸排水機場の解説</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>参加者: スタート地点の第一機場でコースの全体説明を受けてからの見学で、よく理解できて為になった。次回も計画して下さい。(市内 男性 68 歳)          実施団体: 今回はバスで効率よく巡れたので、9ヶ所の見学が可能になった。</p>

企画名	<b>もっと知ろう 手賀沼 ～水調べと手賀沼船上見学会、河川の定点観察</b>
実施団体	団体名 <b>手賀沼流域フォーラム実行委員会・松戸</b> 問合せ先 中岡 丈恵 TEL: 047-385-8950 Email: naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp
目的	松戸市内に手賀沼流域の地域があることを知らせ、そこに流れる河川(排水)を、調べ、汚染と浄化を考える1歩とする。
日時・場所	① 2014年7月26日(土) 松戸市六実市民センター集合 ② 7月～2月
プログラム・概要・ルート等	①大津川流域の水調べと手賀沼船上見学会 9:30 マイクロバス乗車・出発 大津川支流と排水溝など5ポイントの観察・水質検査 12:10 昼食(鎌ヶ谷市北部公民館2階学習室)、学習会「大津川の昔と今」(中岡丈恵) 2ポイント観察・水質検査 12:45 バス乗車・出発 13:30 船上見学(手賀沼公園から乗船)* 船内にて手賀沼の水とヘドロ検査 14:50 手賀沼親水広場 着・水の館見学 *手賀沼の生き物調べ・水の館職員による環境学習(どんな魚がいるのかな?) 17:00 六実市民センター到着・解散 ②行動は自分の流した排水調べから! *二重川、神崎川、印旛沼で定点観察・水質調査→夏の調査ポイントを再調査
参加対象 参加人数	小学生以下は親子参加。子ども28名、大人24名、スタッフ15名、合計67名
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2月15日 (水調べ) 五香の住宅街</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>7月26日 (水調べ) 鎌ヶ谷第三中前合流点 ※冬期の方がCODは高い</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2月15日</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>7月26日(体験学習) 手賀沼の生き物採取</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>7月26日 (水調べ) 鎌ヶ谷市 佐津間飛び地</p> </div>	
参加者や 実施団体の 感想	<ol style="list-style-type: none"> <li>水調べをしながら手賀沼に行きました。沼は想像以上に大きくて驚きました。</li> <li>沼にはハスの花が咲いてきれいでしたが、はびこり毎年広がり沼にとっては良くない状態という事を知りました。人間の活動が沼との共生、蓮との共生が難しいことを知りました。</li> <li>水調べを通して、見た目ではきれいなのにCODで測ると数値が20とか上がり水質汚濁という事を学びました。</li> <li>水調べの観察は季節により、川の中にいる生き物が変わることが分りました。</li> <li>小さいセキレイや季節によりきれいな鳥を時々見る事が出来ました。</li> <li>川の中の泥の処に小さい鳥の足跡を見ることができました。</li> <li>水調べをすることで何となく観察する目を養われました。</li> </ol> <p>実施団体: 毎年親子での参加、中学生数人の参加があり夏休みの自由研究発表が出来た</p>

<p>企画名</p>	<p><b>もっと知ろう 手賀沼～学習会「とりまく環境」</b></p>																						
<p>実施団体</p>	<p>団体名 <b>手賀沼流域フォーラム実行委員会・松戸</b>                  問合せ先: 中岡 丈恵                  TEL: 047-385-8950 Email: naka.hta@kzc.biglobe.ne.jp</p>																						
<p>目的</p>	<p>大津川、手賀沼へと流れていく家庭排水・単独浄化槽・道路からの排水が手賀沼に与える汚染を学ぶこと</p>																						
<p>日時・場所</p>	<p>2014年8月23日(土) 10:00～12:00 松戸市六実市民センター2階会議室</p>																						
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>①手賀沼の現況説明 中岡丈恵                  ②基調講演 「私たちは沼水の気持ちを実際にしているのだろうか」                  講師：瀧和夫さん千葉県環境学習アドバイザー                  工学博士/千葉工業大学名誉教授                  内容：手賀沼をとりまく流域の特徴と陸域から流入する汚れによって沼の水はどのように変化してきたのか、また、昔のような水を取り戻すことができるのか、参加者の皆さんと共に簡単な実験を通して考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手賀沼とは –その諸元–</li> <li>2. 沼のなやみ</li> <li>3. 沼の気持ち</li> <li>4. まとめ</li> <li>5. 紫キャベツ色素を用いた水溶液のpHを調べる</li> </ol> <p>③松戸市からの報告・流域浄化対策と実施状況 (松戸市環境保全課 本多 力)                  ④質疑応答</p>																						
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>一般市民 ・7名、スタッフ5名 合計12名</p>																						
<p style="text-align: center;">紫キャベツ色素を用いた水溶液のpH調べ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="193 1357 475 1570" style="width: 25%;">  <p>紫キャベツ色素液</p> </div> <div data-bbox="517 1330 1107 1592" style="width: 50%; text-align: center;">  <p>pH</p> <p>濃い赤 薄い赤 紫 青 青緑 緑 黄</p> <p>紫キャベツ液の色</p> </div> <div data-bbox="1182 1314 1382 1570" style="width: 20%;">  <p>講師：瀧和夫さん</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>①紫キャベツをミキサーにかける。蒸留水を加え、色素を抽出させる。水溶液をコーヒーフィルターで濾して出来上がり。</p> <p>②調べたい水をビーカーに取り紫キャベツ色素液を数滴ずつ加え、色の変化を観察する。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>【観察結果】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>溶液の種類</th> <th>紫キャベツ抽出液の色</th> <th>pH</th> <th>液性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペットボトルの水</td> <td>紫</td> <td>7</td> <td>中性</td> </tr> <tr> <td>会場の水道水</td> <td>紫</td> <td>7</td> <td>中性</td> </tr> <tr> <td>レモン水</td> <td>ピンク</td> <td>3</td> <td>酸性</td> </tr> <tr> <td>大津川北部公民館脇白幡橋</td> <td>青</td> <td>10</td> <td>アルカリ性</td> </tr> </tbody> </table> </div>				溶液の種類	紫キャベツ抽出液の色	pH	液性	ペットボトルの水	紫	7	中性	会場の水道水	紫	7	中性	レモン水	ピンク	3	酸性	大津川北部公民館脇白幡橋	青	10	アルカリ性
溶液の種類	紫キャベツ抽出液の色	pH	液性																				
ペットボトルの水	紫	7	中性																				
会場の水道水	紫	7	中性																				
レモン水	ピンク	3	酸性																				
大津川北部公民館脇白幡橋	青	10	アルカリ性																				
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 優しい語り口で・目からウロコの実験を見せてもらいました！</li> <li>2. これまではCODを使い水調べをして来ましたが紫キャベツの汁にお酢を掛けて色が変わることが理解できたことは、身近な物を利用したことで感動しました。</li> <li>3. おおぜいの人に見てもらえたらと思いました。</li> </ol>																						



<p>企画名</p>	<p><b>大津川を歩きませんか～身近な水辺をきれいにしよう～</b></p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 <b>鎌ヶ谷・大津川を清流にする会</b>          問合せ先 尾崎健夫          TEL: 047-444-00</p>
<p>目的</p>	<p>大津川をきれいにするため市民に呼びかけて川の清掃を行う。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年10月19日(日) 9:30～12:00 大津川周辺</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>9:30～ 北部公民館集合          ①挨拶と作業内容の確認          ②参加者の自己紹介(会員、参加者)          10:00～ 大津川周辺の生き物、植物を観察しながら白幡橋から母路橋までの間を散策          ※母路橋の側に大津川の景観や作業写真等のパネルを展示しました          10:30～ 清掃作業(母路橋周辺)          11:15～ 反省会、懇談会          12:00 終了、解散</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>10名(うち会員6名)</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>本日の流れを共有し、全員で自己紹介</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>母路橋付近でパネル展示。多くの方が見学</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>会特製の引っかけ棒でゴミを楽しく回収</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>反省会と懇談会で参加者とともに語り合いました</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>残念ながら生き物類はほとんど見る事ができなかった(時刻的な関係・早朝にはカルガモやマガモ等数十羽を見る事ができる)。          清掃して集めたゴミは、レジ袋、傘、農業用シート、ロープ等でした。          散策中の市民の方々50名以上がパネルを見学していました。</p>

<p>企画名</p>	<p><b>竹炭・華炭を焼こう ～間伐した竹を使って～</b></p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 <b>栗野の森の会</b>          問合せ先 代表 小出達雄          TEL: 047-446-3795</p>
<p>目的</p>	<p>森や低湿地を侵食する竹を間伐し、他の木の実などと共に炭にし、自然と触れ合う。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年11月8日(土)10:00～15:00 鎌ヶ谷市市制記念公園集合</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>始めに竹の間伐をする予定であったが、天候不順のため、間伐して乾燥させておいた竹を切って竹炭を焼いた。火のおこし方も教え、一般参加の方二人に担当者一人がつく形で進化した。一缶が燃えている間に、マツボックリ、オクラ、モミジバフウ、トチの実などをその種ごとに缶につめて焼き、一缶できあがるごとに新たな華炭に挑戦していくようにして、正午までにはほぼ炭ができあがって昼食とした。</p> <p>食後、会員の指導のもと竹カゴに赤い和紙を敷きその上に自分の焼いた炭を飾って盛りつけし、一人一カゴの作品が完成した。残った竹炭・華炭は袋に入れて持ち帰った。早目に終わり、軽い雨に二度ほど降られただけで、最後には森を案内して解散とした。</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>子どもを含む一般市民と会員など 合計 23名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>今回の炭焼きの材料6種</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>会員が竹の間伐も行った</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>竹を思い思いの形に切る</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>材料は1種類ずつ缶に入れる</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>火の様子を見ながら薪をくべる</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>完成した竹炭・華炭を飾りつけ</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>「缶のふたをあけた時の黒光りする竹や、オクラの実が感動的でした。」          「薪で火をたくことの新鮮さ、難しさ、あたたかさが心にも体にも残っています。」          など、来年も参加したいとの言葉が多く、会員も分担を決めて活動ができ、とてもよかったという感想でした。</p>



<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;"><b>金山落（今井の桜並木）生き物観察会</b></p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 <b>今井の桜保全プロジェクト</b>          問合せ先 白井市白井コミュニティセンター          電話 047-491-1505 E-mail: mail@shiroi-com10.com</p>
<p>目的</p>	<p>市内を流れる金山落今井地区の生き物を採捕観察し、小学生親子に馴染みの薄い手賀沼に関心を持ってもらうとともに、今井の桜並木の保全が急務であることを知ってもらう。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2014年9月27日（土）9：30～11：30 金山落今井3号橋周辺</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>9：30 開会          魚とり開始 講師：柴田佳秀さん（科学ジャーナリスト）          ・参加者がモンドリを金山落に仕掛ける          ・市内在住の小林三郎さんが、お手製の大型の袋網に上流からボートで魚を追い込み、参加者が袋網を引き揚げる。          ・前日から仕掛けて置いた小林三郎さん手製のうけ（せん）を引き揚げる。          ・自分の仕掛けたモンドリを引き揚げる。          ・タモ網を使い、周辺の用水路の魚やエビを採捕する。          10：50 魚とり終了          ・採捕した生き物の観察をし、講師の説明を聞く。          ＊採捕した生き物（モツゴ・タモロコ・ギンブナ・ツチフキ・ヌマチチブ・ドジョウ・タイリクバラタナゴ・カダヤシ・ウシガエルのオタマジャクシ・アメリカザリガニ・テナガエビ・ハイイロゲンゴロウ）          11：20 今井の桜並木について説明（今井の桜保全プロジェクト）          11：30 閉会</p>
<p>参加対象 参加人数</p>	<p>小学生の親子 保護者 11名、子ども 14名、スタッフ 13名 合計 38名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>講師によるモンドリの説明</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>大きな袋網を引き揚げる</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>用水路で大人も子ども夢中！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>モンドリには魚やエビがいっぱい！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>用水路の魚やエビをゲット！</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>講師の解説に目からウロコ</p> </div> </div>	
<p>参加者や 実施団体の 感想</p>	<p>（参加者）外来種が多いことを改めて認識しました。/ふだん見られない生き物の観察ができとても楽しめました。/白井にある川を大切にしたいです。          （主催者）アンケートには、全員の方が今井の桜を大切に、保全活動に参加したいと回答されていました。今後の活動に繋げて行きたいです。</p>